

フジ・メディア・ホールディングス
未来アクションレポート2024
ACTION REPORT FOR A SUSTAINABLE FUTURE

■対象期間
2023年4月—2024年4月

■発行日
2024年7月30日



パーパス

Purpose

多様なコンテンツで、新しい「景色」を

私たちは、放送、出版、通販、音楽、イベント、都市開発・観光など

幅広い分野で事業活動を展開しています。

私たちが提供する心を潤し、生活を豊かにするものすべてを「コンテンツ」と捉え、

「ほかにはない」感動、「魅力のある」体験、「信頼される」情報などを通して、

皆様に新しい「景色」をお届けします。

「人と人をつなぐメディア」として、皆様と一緒に

持続可能で明るい未来を創造していきたいと考えています。

マテリアリティ 大切にしていること

Materiality



「豊かさ」を生み出すコンテンツの提供

放送・出版・通販・イベント・都市開発・観光など幅広い事業活動を通じ、皆様に多様な「コンテンツ」を提供し、新しい「景色」や「豊かな」生活をお届けします。



誰もがいきいきと暮らせる社会の実現

すべての人の人権を尊重し、多様な価値を受け入れるインクルーシブな社会をめざします。地域社会とのつながりを創出し、未来を担う子どもたちや、あらゆる世代の人々の健康で豊かな生活に貢献します。



美しい地球環境を未来につなぐ

メディアやコンテンツを通じて気候危機の現状をお伝えし、地球環境保全に向けた気運を高めるとともに、自社の事業活動によってもたらされる環境への影響を認識し、負荷の低減に努めます。



働きやすい職場環境の整備

コンテンツやサービスなど当社グループが多様な「価値」を生み出す要となるのは「人」であり、ジェンダーや年齢・障害の有無に関わらず、従業員・スタッフなど全ての関係者がいきいきと働き続けられる職場づくりに努めます。



皆様との信頼関係の維持

当社グループの各事業は、視聴者、ユーザーの皆様や、お客様、お取引先の皆様など多くのステークホルダーとの信頼の上に成り立っています。コンプライアンス・ガバナンスへの高い意識を持ち、将来にわたって皆様から求められる企業をめざします。

事業内容

Business Overview

フジ・メディア・ホールディングスは、テレビ、ラジオ、配信、出版などの「メディア・コンテンツ事業」と「都市開発・観光事業」の2つを軸に、グループ全体で多彩な事業を展開しているメディアコングロマリットです。

3つの事業セグメント

心を潤し、生活を豊かにするものすべてが「コンテンツ」

メディア・コンテンツ事業

フジテレビジョン/BSフジ/ニッポン放送/仙台放送/共同テレビジョン/フジクリエイティブコーポレーション(FCC)/フジアル/フジ・メディア・テクノロジー(FMT)/NEXTEP/ポニーキャニオン/フジパシフィックミュージック/DINOS CORPORATION/クオラス/扶桑社

地上波テレビ放送を中核に、BS・CS放送、ラジオ、配信や多様なコンテンツ制作、ゲーム、音楽、広告、出版、通販など幅広い事業を展開

都市開発・観光事業

サンケイビル
グランピスタ ホテル&リゾート
サンケイビル・アセットマネジメント

オフィスビルの開発・賃貸・管理、商業施設や飲食店の運営、マンションの販売・賃貸などの事業やホテルや海洋レジャー施設の運営など観光リゾート事業も展開

その他事業

フジミック
エフシージー総合研究所
フジキャリアデザイン
フジサンケイコミュニケーションズ・インターナショナル(FCI)

ITシステムの構築、人材ビジネス、さらにメディアや生活に関する調査研究、海外事業の開発や新規ビジネスの開拓まで、様々な事業を展開

※ 主な子会社、関連会社を掲載しています。

サステナビリティの基本的な考え方

Basic Concept of Sustainability

当社グループは、放送の公共的使命と社会的責任を常に認識し、メディア・コンテンツ、都市開発・観光等の幅広い事業活動を通じて、皆さまの豊かな生活に貢献することを経営の基本方針としています。2022年5月には、持続可能な社会の実現に向けた取り組みをグループ全体で推進していく上での指針となる「サステナビリティ宣言」を策定しました。また、人権尊重への一層の意識向上と体制の充実のために、2023年11月30日に「フジ・メディア・ホールディングス グループ人権方針」を策定し、発表しました。

サステナビリティ宣言の骨子

- **地球環境のために**
あらゆるコンテンツを通じて気候変動など地球環境の危機の現状をお伝えすることで、未来に向けた行動に資する情報を提供。事業活動によってもたらされる環境負荷の低減に努める。
- **誰もがいきいきと暮らせる社会のために**
人権を尊重し、多様な価値を受け入れるインクルーシブな社会をめざす。地域社会とのつながりを創出し、未来を担う子どもたちや、あらゆる世代の人々の健康で豊かな生活に貢献。
- **働きやすい職場環境のために**
ジェンダーや年齢・障害の有無に関わらず、全ての従業員・スタッフが個性を發揮し、生き生きと働き続けられる職場づくりをめざす。
- **ステークホルダーの皆さまとともに**
様々なステークホルダーとの信頼関係を堅持しながら、常に高い法令遵守の意識を持ち、将来にわたって皆様から求められる企業グループをめざす。

詳しくはこちら



本レポート概要

Outline of the Report

本レポートは、フジ・メディア・ホールディングスが2023年度に行った持続可能な社会の実現に向けた数々のアクションをまとめたものです。2023年度も、多様な形でSDGsの課題解決につながる活動を実施してきました。その中で主な活動をカテゴリー別にまとめました。

- 地球をもっと持続可能に P5-8
- 被災地復興支援・防災 P9-12
- 若者の未来を応援 P13-14
- 地球環境の回復に向けて P15-17
- 誰もが生きやすい社会の実現に向けて P18-20
- 世界の芸術・文化振興のかけはしに P21

サステナビリティ推進体制

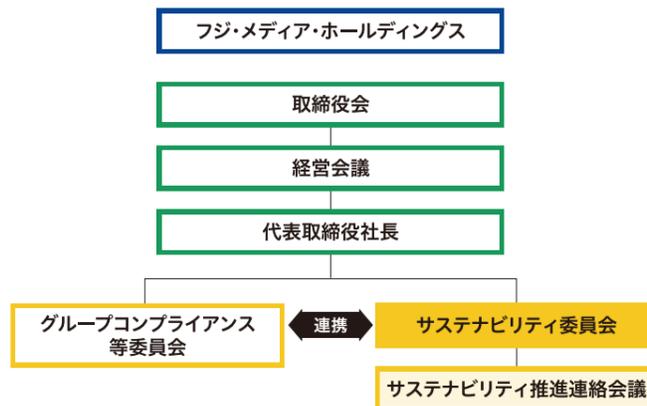
Sustainability Promotion Framework



サステナビリティ推進連絡会議メンバー

フジテレビジョン/BSフジ/ニッポン放送/仙台放送/共同テレビジョン/フジクリエイティブコーポレーション/NEXTEP/フジアル/フジ・メディア・テクノロジー/ポニーキャニオン/フジパシフィックミュージック/DINOS CORPORATION/クオラス/サンケイビル/扶桑社/フジミック/エフシージー総合研究所/フジキャリアデザイン/18社とフジ・メディア・ホールディングス

2022年6月に代表取締役社長を委員長とするグループ横断のサステナビリティ委員会を設置しました。この委員会は、持続可能な社会の実現への取り組みを強化するため、グループコンプライアンス等委員会とも連携して、課題・リスクを共有し、その対策にあたってまいります。なお、その下部組織としてサステナビリティ推進連絡会議を設け、各社の活動報告や新たな企画の立案などを行っています。



参画しているイニシアチブ

Initiatives we are participating in



2018年4月より
国連グローバル・コンパクトに署名

国連と民間(企業・団体)が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブです。



2022年にTCFD提言への賛同表明

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に賛同し、2022年にTCFDに基づく情報開示を行いました。



2018年12月より
SDGメディア・コンパクトに加盟

国連が設けたSDGs推進のためのメディアの枠組みで、フジテレビ、BSフジ、ニッポン放送、仙台放送、扶桑社、グレイブが加盟しています。

トップインタビュー

TOP INTERVIEW

人と人をつなぎ 持続可能な未来へ



フジ・メディア・ホールディングス
代表取締役社長 金光 修

フジ・メディア・ホールディングスの強みとは?

当社は多様なメディアの集合体です。“人々が心を潤し、生活を豊かにするすべてのもの”を“コンテンツ”と捉えて一人ひとりの生活スタイルに適したメディア・販路・提供手段で届けています。放送、出版、通販、音楽、イベント、都市開発・観光など幅広い分野を通じて、ほかにはない感動や、魅力的な体験、信頼される情報などをお届けしています。



6月1日開業の神戸須磨シーワールド

事業を通じて実現したい“未来”像

2022年に「サステナビリティ宣言」を策定し、持続可能な未来へむけた当社の姿勢を対外的に発信しました。その上で重点的に取り組む課題[マテリアリティ]を特定するとともにTCFD提言への賛同・情報開示も行いました。また、2023年5月「拡がる」フジ・メディア・ホールディングス中期グループビジョン2023を発表し、生活スタイルの多様化が進む中、コンテンツのラインアップを一層充実させるとともに、視聴者やユーザーの皆さま一人ひとりの細分化したニーズに応えていけるよう努めてまいります。今後も企業価値の最大化とともに、誰もがいきいきと暮らせる未来の実現をめざしてまいります。

SDGs~これまでと今後について~

フジ・メディア・ホールディングスは、“人と人をつなぐメディア”として、創造力と発信力を生かして、様々な価値を社会に提供してきました。フジテレビは、世界の子どもの笑顔のためにユニセフと組んで実施してきたFNSチャリティキャンペーンが2023年に50周年を迎えました。また、ニッポン放送が1975年から継続しているラジオ・チャリティ・ミュージックソンも49回目を数え、毎年クリスマスに24時間にわたる放送を通じて、目の不自由な方たちが安心して街を歩けるための募金を呼びかけています。



楽しくアクション!
SDGs

SDGsに関しては、2018年にフジテレビにおいて世界で初めてのSDGsをテーマにしたレギュラー番組『フューチャーランナーズ』をスタート。今地球上で起きていること、そして、それに対する具体的なアクションを毎週お届けしています。その他にもフジテレビ・BSフジ・ニッポン放送をはじめとするホールディングス各社で「楽しくアクション!SDGs」キャンペーンを展開するなど、当社グループの強みを活かして地球を持続可能にするための発信をより一層強化していきたいと考えています。

楽しくアクトイオ!SDGs

「楽しくアクション!SDGs」は、フジテレビ、BSフジ、ニッポン放送による3波連合SDGs推進プロジェクトとして2021年1月にスタートしました。SDGsが掲げる目標について視聴者・リスナーと一緒に学び、考え、実践していくことをめざしており、2024年4月からはフジ・メディア・ホールディングス傘下の各社と連携しながら推進しています。また、アンバサダーにはSDGsを身近に感じてもらえるようEXITを起用、「楽しく」伝えることを基本コンセプトにしています。

各社の主なSDGs番組

フジテレビ

『フューチャーランナーズ ~17の未来~』



フジテレビ 毎週水曜22:54~23:00 関東ローカル
BSフジ 毎週土曜21:55~22:00 制作:バンエイト
〈公式サイト〉<https://www.fujitv.co.jp/futurerunners/>

『地球との約束 ~心に刻む景色~』



毎週火曜22:54~23:00 関東ローカル
NST新潟総合テレビでも放送
制作:共同テレビ
〈公式サイト〉 <https://www.fujitv.co.jp/chikyuu/>

スペシャル番組



『サスティナ! ~こんなところにもSDGs~』



毎週土曜9:55~10:25 全国放送
制作:FCC
〈公式サイト〉<https://www.fujitv.co.jp/sustaina/>

『街角パレット ~未来へのたからもの~』



2023年10月スタート
毎週日曜11:45~11:50 関東ローカル
制作:共同テレビ・バンエイト
〈公式サイト〉https://www.fujitv.co.jp/machikado_palette/

4年連続放送! 『EXITの未来を本気で考える4~フューチャーランナーズSP』

自然と人間との共生をテーマに「回復」「活用」「循環」の3つのポイントに着目し、EXITが天然食材ハンター・谷田圭太さんと山や川でお宝食材探し。山でトリュフを探したり、じねんじよを掘ったり、川ではコイツカみにも挑戦しました。 [→ 15ページに関連情報](#)
2024年2月10日14:30~15:30 関東ローカル



『体感!サステナWAVE』



毎週火曜21:54~22:00 関東ローカル
制作:バンエイト
〈公式サイト〉https://www.fujitv.co.jp/sustaina_wave/

『GO!GO!チャギントン』



毎週日曜 6:15~6:30
月1回 SDGsについて親子で学べるコーナー
〈公式サイト〉<https://www.fujitv.co.jp/chugginginton/sdgs.html>

BSフジ

『知りたい!SDGs』



SDGsについて、ナビゲーターの皆藤愛子が子どもや若者、高齢の方にもわかりやすいよう、全体コンセプトや、各目標を解説。また、目標の解決に向けて取り組んでいる事例も紹介しています。

※2024年4月から『みんなでSDGs』にリニューアルしました。
毎週木曜22:55~23:00 BSフジ 制作:NEXTEP
〈『みんなでSDGs』公式サイト〉<https://www.bsfuji.tv/sdgs/>

『旅する地球レストラン! ~Traveling The Earth Restaurant~』



速水もこみちが、地域ならではの食材や特産品を求めて旅をしながら、その食材を使った美味しい料理に挑戦する特番シリーズ。地域に根差したSDGs情報も満載でお届けしました。

2023年9月30日 20:00~21:55
「海の幸・山の幸などさまざまな食材の宝庫!福岡県・糸島市編」
2024年2月22日 22:00~22:55
「小田原の風土を生かし作られた絶品食材!神奈川県・小田原市編」

『ブラマヨ弾話室~ニッポン、どうかしてるぜ!~SDGsスペシャル~』



ブラマヨネーズが【今後のニッポンがどうなっていくのか?】をテーマに、様々なジャンルの専門家を招いて独自の視点から考察していく社会派雑談バラエティ。クリスマスイブに、SDGsスペシャル回を放送。フジテレビSDGs担当の木幡美子の解説で、「SDGsがよくわからない」という初歩的な知識から、環境、教育、貧困、ジェンダー平等などのSDGsの課題を取り上げました。

2023年12月24日22:30~23:00 ※(再放送)2024年1月21日

フジテレビ / BSフジ

『Earth Walker』 地上の楽園・ハワイ~受難の森と大地の祈り~



滝川クリステルが生命の多様性と神秘に触れる大型ドキュメンタリー第13弾。今回の舞台はハワイ。2023年8月、マウイ島でハワイ史上最悪の山火事が発生し、約100人が死亡する大惨事に。原因を調べると、ハワイの豊かな自然を守って来たメカニズムが人間の影響で壊れつつある現実が見えてきました。ハワイが今直面する危機に対し、私たち人間がとるべき道を考えました。

フジテレビ 2023年12月31日 6:00~7:00 BSフジ 2024年2月25日

ニッポン放送

『SDGs MAGAZINE』



ニッポン放送では、2020年より毎週SDGsの現状や課題、そして私たちにできることをわかりやすく紹介する『SDGs MAGAZINE』を放送しています。パーソナリティは新内真衣が担当し、放送だけではなくWeb記事にして蓄積することで多面的に伝えています。
毎週日曜 14:10~14:30

国際女性デーに特別番組 『新内真衣のSDGs MAGAZINE増刊号』を放送



国際女性デーに合わせて『SDGs MAGAZINE』の特別番組を2時間30分の拡大版で放送。森澤恭子品川区長や、伊久美亜紀らがゲスト出演し、パーソナリティの新内真衣とともに、これからの女性の生き方を考えました。

2024年3月8日 19:00~21:30

DINOS CORPORATION

「dinos とサス活」
お買い物ものから始める、小さな一歩。

ディノスオンラインショップで扱うサステナブルな商品を集めたコンテンツ「dinosとサス活」を、2023年8月にオープン。お客様とともにサステナブルな未来を実現していくことをめざし、「お買い物ものから始める、小さな一歩。」をコンセプトとしています。オープン時点で自然環境配慮商品など約400点を集めて掲載。また、商品情報だけでなく、サステナブルな“気づき”を生むきっかけになるよう、掲載商品の背景にあるストーリーをご紹介するコラムを隔週で配信しています。さらに、フードロスへの取り組みとして賞味期限が迫った食品やシーズン外の商品、あるいは外装不良などによって正規販売ができない家具などを割引価格でラインナップした「サス割」コーナーも設置。これらの商品を購入することで社会課題解決への貢献の第一歩になることを発信しています。



〈dinosとサス活サイト〉

扶桑社

「親子で学ぶSDGs」を出版



ベストセラーとなった「こどもSDGs」の著者が贈るSDGsを親子で学べる書籍を出版。2030年までに達成をめざすSDGsの17の目標。日本のSDGs達成状況はどうなっているのか、「何が達成できていないのか」「どんなことをすればいいのか」を、親子で学べるように作られています。大人も子どもと一緒に考えることでSDGsの課題解決をめざします。

雑誌「ESSE」本誌やESSEオンラインでSDGs企画を発信



ESSE online

「ESSE」本誌において、省エネについての最新知識やフェムテック、防災などをテーマにした記事を掲載。また、ESSEオンラインでは、SDGsをテーマにしたコラム「今日からできる！暮らしのSDGs」(フジテレビ 木幡美子執筆)を連載しています。社会課題についてわかりやすくお伝えしながら、暮らしの中で一人ひとりができることを紹介しています。

フジテレビ / グレイブ

「サステナビリティ・ストーリー」

企業のサステナビリティの取り組みとその背景にある思いを記事と動画で紹介する「サステナビリティ・ストーリー」を2023年3月にスタートしました。ニュースメディア・FNNプライムオンラインに公開され、たくさんの方の目に触れることで、社会課題を知ってもらい、一人ひとりのアクションにつなげたいという思いで制作しています。

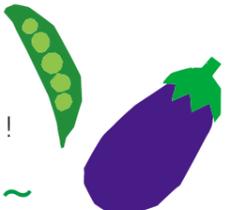
FNNプライムオンライン grape ※ グループ会社 株式会社グレイブと連携



フジテレビ・BSフジ・ニッポン放送が連動した
ネイチャーポジティブ企画

野菜を育てて自然の力を回復、持続可能な未来をみんなで実現しよう！

～フジテレビ本社にアクションお台場ファームが開園～



NATURE POSITIVE & BIODIVERSITY



2024年4月、フジテレビお台場の本社屋に農園「アクションお台場ファーム」を設置し、登録した利用者みんなで野菜を育てるプロジェクトをスタートしました。

種まきからお手入れ、収穫まで楽しくシェアでき、参加するだけで食や環境の課題に貢献できる仕組みになっています。農とエンターテインメントを掛け合わせた“アグリテイメント”で手軽に楽しく自然や生物に触れてもらう機会を提供することで、もはやまったなしの気候変動問題や食糧危機、自然との共生などについても考えるきっかけを届けていきます。



ナス、かぼちゃ、オクラなどの野菜や、しそ、トウガラシ、バジルやローズマリー、いちご、ブルーベリーなどが植えられています。



アーバンファームとは、都市の空きスペースや屋上などを利用して行う都市型農園のことで、地産地消、CO₂削減による環境保全、地域コミュニティ活性化などにも役立つとして、海外ではすでに多くの都市で取り組みが始まっています。



〈アクションお台場ファーム公式サイト〉



ホールディングス各社

**フジネットワーク サザエさん募金
能登半島地震救援**

□座名義：フジネットワーク サザエさん募金
振込口座：みずほ銀行 東京中央支店
(普通) 2299929
(同行内の振り込みは無料)
三菱UFJ銀行 東京営業部
(普通) 0318120
(同行内ATMでの振り込みは無料)
郵便振替口座：00140-3-623454

※ 募金受付は終了しています。

**能登半島地震被災地復興支援
令和6年1月の能登半島地震被災地支援のため
「サザエさん募金」を実施**

2024年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震があり、多数の死傷者が出るとともに、多くの家屋が倒壊し、今もなお、被災された住民の方々が過酷な避難生活を強いられています。フジテレビをはじめとするFNS系列28局とBSフジは、1月5日から「フジネットワーク サザエさん募金」を実施し、石川県をはじめ被災した方々のためにニュースや情報番組、HP等で義援金を呼びかけました。集まった義援金は全額、日本赤十字社を通じて被災者のために活用されます。

募金額 5億2,386万566円

フジテレビ

サザエさんグリーティング@七尾市



**フジテレビ
ずとおうえん。
プロジェクト**

能登半島地震の被災地の皆さんを元気づけようとサザエさんが志賀町の小学校、七尾市のこども園や保育園、そして矢田郷地区の避難所、計13ヶ所を訪れました。小学校では児童の登校に合わせ、サザエさんが玄関前で子どもたちを出迎え。避難所では、『サザエさん』のオープニング曲を歌ったり、記念撮影を行いました。被災地の皆さんに少しでも笑顔になってもらいたいという思いで実施しました。

[2024年3月13・14日実施]

DINOS CORPORATION

七尾市に緊急物資をお届け



DINOS CORPORATIONは国内の自然災害による被災地支援のため、LINEヤフー株式会社が運営する緊急災害対応アライアンス「SEMA(シーマ)」に加盟しており、能登半島地震に対するSEMAからの緊急要請を受け、支援物資として寝具(掛け毛布、敷きパットのセット)230点を石川県七尾市に届けました。

※「SEMA」とは：民間企業とNPO・NGO等の市民団体が連携し、日本国内における大規模な自然災害発生時に必要な物資・サービスを被災地へ迅速に提供する仕組みで、2024年3月現在、企業93社、市民団体6団体が加盟しています。

フジテレビ

防災への取り組み



防災出前授業

3月9日には、横浜市民防災センターで行われた防災イベントで『めざましテレビ』と横浜市消防音楽隊がコラボし、生演奏と防災プログラムを実施。防災クイズや、ガチャピンを使った毛布担架による搬送体験なども行いました。

防災について楽しく学ぶ機会を提供 横浜市と防災・減災協定締結

フジテレビと横浜市は、2023年12月、「防災・減災の市民啓発に関する連携協定」を締結しました。フジテレビが持つコンテンツを使って 防災・減災への意識と備え向上のための様々な啓発活動を行っています。フジテレビでは東日本大震災以降、未曾有の災害を決して忘れない教訓とするため、震災特番「わ・す・れ・な・い」をシリーズで放送。長期にわたって被災地取材し撮影した膨大な映像や、貴重な証言から得た教訓を直接市民に伝えることで、命を守るアクションへのきっかけにしたいと考えています。

ニッポン放送



東日本大震災から12年
番組がギャラクシー賞 ラジオ番組部門 選奨

東日本大震災から12年となる2023年3月11日、宮城県気仙沼から生中継で放送した『サンドウィッチマン ザ・ラジオショーサタデー』が、第60回ギャラクシー賞(NPO法人放送批評懇談会主宰)のラジオ番組部門で選奨を受賞しました。サンドウィッチマンの2人が当時を振り返りながら、生放送中の14時46分には現地を訪れた約300人の人々とともに1分間の黙祷を捧げるなどパーソナリティとリスナーのつながりが十分に発揮された番組として高く評価されました。

仙台放送

「東北・みやぎ復興マラソン」を5年ぶりに開催



東日本大震災の復興を支援する目的で2017年から始まった「東北・みやぎ復興マラソン」。2019年以降、台風やコロナの影響で4年連続中止となりましたが、2023年11月に5年ぶりに開催されました。アンバサダーのサザエさん一家が応援に駆けつける中、全国から9,724人のランナーが参加。フルマラソンのコースは、7割が東日本大震災時に津波によって浸水したエリアを通るため、走りながら復興の軌跡や変わりゆく街並みを感じることができます。フルマラソンの他に親子ペアランや、2kmのキッズランも行われました。今後も被災地を想う気持ちを忘れず、未来につないでいきたいと思えます。

主催：仙台放送 [2023年11月5日実施]



東日本大震災特別企画『ともに』を継続放送



宮城県の地元放送局として被災した方や被災地に寄り添いたいという想いから、東日本大震災の翌月から『ともに』の放送を開始しました。

番組では、宮城の今を生きる人々、「復興」を支える人々やその活動内容を紹介しています。被災した人たちが今どんな気持ちで、何をみつめているのか——。日常を取り戻すために、どんな人たちがどんな想いで取り組んでいるのか——。その道のりを、「ともに」迎っていきます。

月1回の放送は2022年3月まで132回となりました。その間、継続的な取材先も含めると12年間で420を超えるグループや活動を紹介してきました。2022年4月以降はニュース番組「Live News イット!」内で特集枠として放送を続けています。

フジテレビ

震災特別番組



『わ・す・れ・な・い 巨大地震再び・・・教訓は生きたのか』
あの日以来の大津波・・・どう命を守ったか

東日本大震災以来13年間にわたり放送してきた「わ・す・れ・な・い」シリーズ。これまで命を守る行動について、各地の津波映像を元に検証を重ねてきました。そんな中、2024年元日に発生した能登半島地震。撮影されたドライブレコーダーの映像から見て取れたのは、強烈な揺れと再び日本を襲った津波被害の恐ろしさでした。その時住民はどんな行動をとったのか。津波到達地で撮影された数々の映像と証言を交えて、命を守る行動を検証しました。 2024年3月11日 14:50~15:45

子どもたちが誇れる桜の名所を・・・
「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」を10年間にわたり継続サポート



2024年2月3日フジ・メディア・ホールディングス各社有志で広野町で桜を植樹

東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県に「子どもたちが誇れる桜並木を作りたい」という思いで立ち上がった「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」。フジ・メディア・ホールディングスはその趣旨に賛同し、2013年度から桜の苗木を購入し、現地での植樹活動を継続しています。2023年度は、8社から37人が参加し、福島県広野町のさくら公園に46本の苗木を植えました。これまでに植樹した桜は合計1,496本になりました。



これまでに1,496本の桜を植樹



NPO法人ハッピーロードネット
西本由美子氏

とにかく感謝しています。震災の時に津波で亡くなった高校生との「桜並木を作ろう」という約束を守るためにスタートしたのですが、「ありがとう」という気持ちでやっていて、続けることの大切さに感謝しています。フジ・メディア・ホールディングスの皆さんには、2013年から続けて頂いて、コロナの時も人数を減らし、感染対策を取り植樹活動をしてくださいました。またこうして大勢の方に来てもらって、続けることができていることに感謝しています。



10年のあゆみ

※ 2020年度より株主様の議決権行使の際、スマート行使をご利用頂いた分の郵送料の一部を苗木の寄付に充てています。

ディノス・セシールを事務局として協賛をスタート 2013 290本

■植樹日：2014年2月16日
■植樹場所：南相馬市、いわき市、浪江町

13社から110本、ディノスの顧客参加型支援等により180本、合計290本の桜を南相馬市、いわき市、浪江町に寄付。このうち南相馬市では、2月16日に260本を植樹するイベントを実施。



2015 657本

■植樹日：2016年1月21日
■植樹場所：双葉郡広野町

15社から95本、ディノスの顧客参加型支援等により122本、合計217本を寄付。
※ 24時間ニュースチャンネル「ホウドウキョク」で生中継。



2017 1,022本

■植樹日：2018年1月20日
■植樹場所：南相馬市小西

14社からディノスの顧客参加型支援等により155本の桜の苗木を寄付。



2019 1,320本

■植樹日：2020年2月15日
■植樹場所：相馬市南飯渕

14社からディノスの顧客参加型支援等により145本を寄付。



2021 1,405本

■植樹日：2022年1月22日
■植樹場所：相馬市国道6号線の土手の斜面

19社から37本とスマート行使の郵送料分を合わせて45本を寄付。これまでに寄贈した桜は1,405本に。



2023 1,496本

■植樹日：2024年2月3日
■植樹場所：広野さくら公園

19社からスマート行使の郵送料分を合わせて46本の桜の苗木を寄付。これまでに寄贈した桜は1,496本に。



2014 440本

■植樹日：2015年1月14日
■植樹場所：双葉郡広野町

15社から100本の桜の苗木を寄付。ディノスの顧客参加型支援により50本、計150本を寄付。



2016 867本

■植樹日：2017年1月21日
■植樹場所：相馬郡新地町

15社から95本、ディノスの顧客参加型支援等により115本、合計210本を寄付。地元の県立新地高校の生徒27人と加藤新地町長とともに国道6号線沿いを中心に植樹。



2018 1,175本

■植樹日：2019年2月24日
■植樹場所：相馬市相馬光陽

14社からディノスの顧客参加型支援等により153本を寄付。



2020 1,360本 フジ・メディア・ホールディングスに事務局を移管

■植樹日：2021年3月28日
■植樹場所：相馬市

19社とスマート行使の郵送料分を合わせて40本を寄付。これまでの合計は1,360本に。



2022 1,450本

■植樹日：2023年2月4日
■植樹場所：相馬市国道6号線沿い

19社とスマート行使の郵送料分を合わせて45本を寄付。これまでに寄贈した桜は1,450本に。



この桜がすくすくと成長し、この福島の地が桜で満開となる日を楽しみに、これからも桜の植樹活動を続けていきます。

フジテレビ / 扶桑社

“伝えるプロ”が子どもたちのコミュニケーションを継続サポート
「あなせん」出前授業プロジェクトが300校突破!

フジテレビが2005年から継続している現役アナウンサーによるコミュニケーションの出前授業「あなせん」。2023年度実施校は22校で19年間の合計が300校を超えました。若手からベテランまで、ほぼすべてのアナウンサーが先生として授業を行い、伝わりやすいしゃべり方のコツや言葉を通したface to faceのコミュニケーションの大切さを伝え続けています。

プロジェクト概要

対象：小学校3年生～6年生
講座内容：[スピーチ]
[インタビュー]
[音読]
実施エリア：関東1都6県



〈あなせん公式サイト〉 <https://www.fujitv.co.jp/csr/anasen/>



佐久間みなみアナ・安宅晃樹アナ

● 2023年度は22校・約1,880人の小学生に対して実施
19年間で 延べ309校 2万4,500人
の子どもたちと出会ってきました。

次世代のクリエイターを応援

フジテレビ×NETFLIX共同で慶應義塾大学で寄附講座を開講

2023年4月、慶應義塾大学で「コンテンツビジネスの現状と将来～現場のプロフェッショナルから聞く最新事情～」と題する寄附講座を開講しました。受講者はドラマや映画のプロデューサー、脚本家、役者志望、またアニメや海外ビジネス、著作権などに興味がある学生が多く、毎回、活気のある授業となりました。講師には、フジテレビの現場で働くプロデューサーや、映画会社の幹部や日本政府、そして海外からと、数多くのプロを迎えて多様な授業を展開。講義の集大

成としてグループに分かれて学生による新たなコンテンツビジネスについての提案をもらい、中には具体的で実現できそうな企画もありました。こうした講座を通じてコンテンツビジネスの世界で働きたいという若い世代の夢を応援するとともに、日本のソフトパワーを海外にも広げることができるコンテンツビジネスの魅力を伝えていきたいと考えています。(2024年度も継続)

- 講義例
- ・日本のテレビ局を取り巻く環境と課題
- ・世界の動画配信会社の現状と将来の見通し
- ・映画産業やアニメコンテンツ
- ・ドラマの企画づくり
- ・フジテレビの海外ビジネス展開
- ・著作権について
- ・韓国コンテンツがなぜ世界で大人気となったのか～成功事例の分析～
- ・コンテンツビジネスに関する日本政府の関わり 他



フジテレビヤングシナリオ大賞

フジテレビは、若手のシナリオ作家を育成するために1987年に「ヤングシナリオ大賞」を創設。これまでに坂元裕二氏や野島伸司氏、浅野妙子氏などドラマや映画業界で活躍する数多くのシナリオ作家を輩出してきました。大賞作品は1時間ドラマとして映像化される他、中には受賞後すぐに連続ドラマを担当することも。『いちばんすきな花』や『silent』の脚本を手がけた生方美久さんは、第33回ヤングシナリオ大賞を受賞しています。2023年は阿部凌大さんの『高額当選しちゃいました』が大賞を受賞。今後も次世代を担う若い才能の発掘・育成を続けてまいります。



2023年は阿部凌大さんの「高額当選しちゃいました」が大賞を受賞(右から2番目)

フジテレビ / FCG総研

食育出前授業「ハロー!どっこくん」



季節の食材をバランスよく食べることや排泄、運動の大切さを教える食育出前授業を行っています。アナウンサーによる、うちのキャラクター「どっこくん」の大型紙芝居の読み聞かせや、「どっこくん体操」などで構成されたプログラムで全国各地の幼稚園、保育園やイベント等で実施しています。2010年にスタートし、これまでに203ヶ所、24,410人を対象に行いました。

〈公式サイト〉 <https://www.fujitv.co.jp/csr/dokko/>



グランビスタ ホテル&リゾート

種の保全活動と「ウミガメ移動教室」



鴨川シーワールドでは海の生き物や水生昆虫など種の保全活動を通じて、自然と野生動物との共存に貢献しています。2002年よりふ化に適さない場所に産卵されたアカウミガメの卵を保護し、生まれた子ガメを自然に近い状態で放流する活動を継続。また、この経験をもとに2012年度より子どもたちに海の生き物についての理解を深めてもらう「ウミガメ移動教室」を千葉県内の幼稚園や小・中学校等で実施しています。2023年度は「エコキッズ探検隊2023」のプログラムとして開催しました。

フジテレビ / FMT / FCG総研

そらぶちキッズキャンプを支援



北海道滝川市の難病の子どもたちのための医療ケア付きキャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」と病院をオンラインでつなぎ、北海道の自然を感じてもらうイベントを実施しました。フジテレビは当団体の活動趣旨に賛同し、2009年から支援を続けています。 [2023年1月26・27日]

フジテレビ / FCC

「デジタル紙芝居」



コロナ禍でおうち時間を楽しんでもらいたいという思いで2020年にスタートした「デジタル紙芝居」。フジテレビの美術担当者によるオリジナルの作画とアナウンサーの朗読による10作品を、フジテレビのYouTubeチャンネルやHPで公開しています。

[注文の多い料理店・ブレーメンの町楽隊・ごん狐・蜘蛛の糸・賢者の贈り物・手袋を買いに・シンデレラ・はだかの王さま・やまなし・ふきのとう]

〈公式サイト〉 <https://www.fujitv.co.jp/csr/kamishibai/>

DINOS CORPORATION

「奨学生応援プロジェクト」



京王不動産株式会社、京王電鉄株式会社とともに、奨学生を応援する「奨学生応援プロジェクト」を2024年2月から開始しました。京王沿線にキャンパスを構える中央大学、明治大学に通う公的奨学金を受給する学生を対象にディノスで展開する新品家具レンタルサービス「flect」で返却された家具を『奨学家具』として無償で提供。

未来を創る若者の経済的課題の解決に貢献してまいります。

フジテレビ / FMT

「ハーティープロジェクト」



産経新聞社あけみちゃん基金とコラボし、入院中の子どもたちに楽しい時間を提供するプロジェクト。『めざましテレビ』のコーナー「きょうのわんこ」を活用したプログラムを5回実施しました。
<https://www.fujitv.co.jp/sustainability/activity/heartypoint.html>

TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) の提言に基づく情報開示

2023年5月にTCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) の提言に基づく情報開示を開始しました。その中で、2030年度までにフジテレビ、サンケイビル、DINOS CORPORATIONの3社の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減し、さらに2050年度までにカーボンニュートラルの達成をめざすことを掲げました。脱炭素の取り組みを加速させ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



より詳しい情報は
こちらから



(フジテレビ、サンケイビル、DINOS CORPORATIONの3社)
2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減
2050年度までにカーボンニュートラルの達成をめざす

2023年度 フジテレビ本社ビル・湾岸スタジオで 実質再エネ電力100%を達成

グループ各社の環境に配慮した取り組み

サンケイビル

物流施設の屋上太陽光発電

サンケイビルは物流施設の開発に着手し、2021年4月に新ブランド「SANKEILOGI」を立ち上げました。今後も、施設屋上に太陽光発電システムを設置する取り組みを日本各地で推進し、入居するテナントの再生エネルギー利用を可能とすることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



国土交通省「サステナブル建築物等先導事業」に採択

「本町サンケイビル(大阪市)」は国土交通省より省CO₂の実現性に優れたリーディングプロジェクトとして「サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)」に採択されました。水冷熱源システムを中心に、一定の省エネルギー性能を有し、オフィスで働く人の快適性と省CO₂を両立する取り組みが評価されたものです。



ニッポン放送

ニッポン放送木更津太陽光発電所

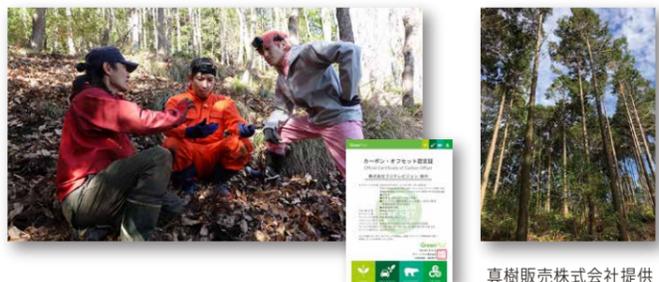
2013年に、木更津送信所に大規模な太陽光発電システム(メガソーラー)を設置し、同年10月1日より営業運転を開始。これにより年間発電量はおよそ2,395MWhとなり、推定で1,339tのCO₂削減につなげています。「ニッポン放送木更津太陽光発電所」は、国が推進する自然エネルギー普及・拡大や社会全体の環境負荷低減へ貢献するものと考えています。



フジテレビ

カーボンゼロ番組を2年連続で放送

2月10日に放送した『EXITの未来を本気で考える4〜フューチャーランナーズSP〜』で、CO₂排出量をできるだけ減らすよう努めた上で、打ち合わせ、移動、ロケ弁当・ごみ・電池・電力使用量、編集作業に係るCO₂排出量を、オンラインツール「アルパート」にて算出、出してしまったCO₂量の全量(0.88トン)を「森林吸収系J-クレジット」を購入し、実質CO₂ゼロを実現しました。



真樹販売株式会社提供

DINOS CORPORATION

「ディノスの森」プロジェクト： 脱炭素に向け企業植林活動をスタート

DINOS CORPORATIONは日本が誇るべき貴重な森林資源を守り育て、この先の未来へとつなげていくため、一般社団法人more treesとともに、2023年10月から様々な樹種の木々が集う「多様性のある森づくり」を開始しました。植林場所は自然豊かな長野県木曾町の開田高原で、木曾町と「森林保全を通じた地方創生事業に関する連携協定」を締結。2024年度は「ディノスの森」プロジェクトとしてお客様にこの活動を広くお知らせし、森づくりをお客様とともに進めていきます。商品ロコミ投稿ページで「ディノスの森」のことで知って頂き、ご購入商品のロコミ数が目標件数の30,000件に達すると、ディノスがお客様に代わり、植林を行います。



フジテレビ / フジアール

農水省「フードシフト」×『ノンストップ!』

9月に東京・丸の内で開催された農林水産省主催の食から日本を考えるイベント『NIPPON FOOD SHIFT FES.東京2023』に参加しました。情報番組『ノンストップ!』によるトークイベントでは、日本が抱える「食」や「農」にまつわる課題に対し、新しい時代にあった解決法や持続可能なあり方をみんなで考え、その模様を後日放送。さらにマルシェエリアにはブースを出店し、体にも環境にも優しいスロージュースを販売。グレイプでも記事として発信しました。

[2023年9月23日・24日イベント実施]
9月29日『ノンストップ!』にて放送
運営: フジアール



ポニーキャニオン

史跡、歴史資源を次世代へ継承 ヘリテージ・マネジメントを推進

ポニーキャニオンは地域活性化事業を2015年にローンチ。2017年に業界唯一の専門部署、エリアアライアンス部を創部、これまでに500を超える案件を業了しています。その派生事業として、2023年より実業家 白洲次郎と文筆家 正子の終の棲家である東京都町田市指定史跡「旧白洲邸 武相荘(ぶあいそう)」の運営にピームスを誘い、参画しました。貴重なヘリテージ(史跡)である同所を次世代に継承するため、白洲夫妻が育んだ里山の保全にも踏み込み、その一環として竹林伐採とそれらを用いた食品開発や正子が生前愛した当時の植生復元にも着手。武相荘を基点とした商品開発・イベント実施・情報発信を行い、多摩エリア最大の観光拠点の磨き上げ、更には文化振興プラットフォームとしてサステナブルな地域づくりに今後も貢献してまいります。



ホールディングス各社

地球環境大賞

「産業の発展と地球環境との共生」をめざして、フジサンケイグループが1992年に創設した顕彰制度「地球環境大賞」。温暖化防止やSDGsへの取り組みで成果を挙げている企業・団体などを表彰するもので、第32回となる受賞式が2024年4月4日、秋篠宮ご夫妻をお迎えして東京・元赤坂の明治記念館で開かれました。12の企業・団体などに各賞が贈られ、大賞は、森ビル株式会社が受賞。今後も当該顕彰制度をサポートすることで環境と経済、そして社会との調和がとれた豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。

主催: フジサンケイグループ



地球環境大賞

ホールディングス各社

フジ・メディア・ホールディングス合同清掃活動



フジ・メディア・ホールディングスでは、2012年より合同清掃活動を継続しています。2023年度は7月、10月、3月に実施しました。33回目となる3月15日の合同清掃活動では、フジ・メディア・ホールディングス傘下や関係協力会社10社から、計57人が参加。フジテレビ本社屋や、海浜公園の周辺などを中心に隅々まで歩いて清掃し、70

リトルのゴミ袋11個分や壊れた傘5本などを回収しました。お台場を訪れる人たちが、快適に過ごして頂けるよう、これからも地域の美化に貢献してまいります。
[2023年7月21日・10月10日 / 2024年3月15日実施]

フジテレビ

ワールドカップバレー2023
「バボちゃんクリーンプロジェクト」

「FIVBワールドカップバレー2023」の開幕を前に、ゴミのポイ捨て問題に取り組むNPO法人グリーンバード、日本バレーボール協会とともに「バボちゃんクリーンプロジェクト・ゴミ拾い活動」を行いました。30℃を超える真夏日の中、集まった約40人で、会場となる国立代々木競技場 第一体育館周辺を清掃しました。ゴミを拾いたくなる様々な仕掛けも取り入れました。
[2023年9月14日実施]

※ゴミ袋は、食用に適さない古米や処分される破砕米等を原料としたバイオマスプラスチック「ライスレジン®」製



ニッポン放送

視覚障害者のためのチャリティを49年間継続

「第49回 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」

2023年のパーソナリティは乃木坂46久保史緒里

「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」は、ニッポン放送が1975年から行っている視覚障害者のためのチャリティ活動です。毎年クリスマス・イヴからクリスマスにかけての24時間の特別番組を中心に、ラジオを通して募金を呼びかけるもので、2023年のパーソナリティは乃木坂46久保史緒里さんが努めました。



2023年11月1日～2024年1月31日まで実施
募金総額9,484万1,179円



寄せられた募金は、目の不自由な方が安心して街を歩くための「音の出る信号機」の設置や、本を音声朗読した「声の図書」「立体コピー機」等、視覚障害を持つ方の社会参加につながる支援に使われます。

ホールディングス各社

世界の子どもたちのために50年間活動を継続

FNSチャリティキャンペーン



2023年度の最終募金総額
5,436万1,613円

経費を控除した4,977万6,494円が公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて現地の子どもたちの支援のために使われます。



FNS SINCE 1974 チャリティキャンペーン

FNSチャリティキャンペーンは、「世界の子どもたちの笑顔のために」をメインテーマに実施しているチャリティ活動です。フジテレビ系列各社及びBSフジが、放送やイベント等で募金活動を行い、ユニセフ（国際連合児童基金）を通じて国際貢献を続けてきました。これまでの募金総額は約45億円に達しており、アジア・アフリカ等世界の開発途上国の子どもたちのために役立てられています。

2023年度の支援国はパキスタン・イスラム共和国

2023年度は、モンスーンで国土の3分の1が水没する被害を受けた「パキスタン・イスラム共和国」を支援しました。倉田大誠アナウンサーが水害、感染症、貧困などに苦しむ子どもたちや家族を取材し、8月1日・2日の2日間にわたって『めざまし8』で放送。2024年度は、2023年11月に発生したマグニチュード6.4の地震で大きな被害を受けたネパールの子どもたちを支援しています。



チャリティコンサートなどを通じて募金活動を実施

- ・「第22回ドリーム夜さ来い祭り」と連動し、「第2回FNSチャリティ産直市」を開催 [2023年11月4日実施]
- ・フジテレビフラワーネットでは、パキスタンの子どもたちを支援する「希望のブーケ2023」を販売
- ・「東京サンケイビル 秋祭り2023」ステージにて「宇海-UUMI-ライブ」を開催 [2023年10月23日実施]
- ・50周年の締めくくりとして、フジテレビ球体コンサートを開催。宇海-UUMI-と澤近泰輔のユニットが50周年イメージソング「WINDY ROAD」を約200人の観客の前で熱唱 [2024年3月4日実施]



2024年度の新キャンペーンソング「Pass the Smile」を初披露

「HANDSIGN」 手話フェス for SDGs

2023年度は、神奈川県平塚市で開催された「song of sign vol.2 夏フェス×手話 for SDGs」に加え、鳥取県で「鳥取手話フェスLIVE2023」が開催され、前年よりも規模を拡大し、2ヶ所での手話フェス開催が実現しました。鳥取県は2013年に日本で初めて「手話言語条例」を制定。「全国手話パフォーマンス甲子園」の開催地でもあることから手話の聖地と呼ばれ、手話の普及に力を注いでいるエリアです。

※手話言語条例 手話を独自の言語体系を持つ言語と位置づけ、手話の普及啓発や施策推進を行うことを目的とした地方自治体の規則となっています。



子ども向けイヤーマフの無料貸し出し

日本ミュージックフェスティバル協会では、家族みんなでフェスを楽しんでもらうため、イヤーマフを無料で貸し出すプログラムを2022年より開始しています。フジパシフィックミュージックでは2023年1月よりこのプログラムに賛同し、協力しています。



ニッポン放送



ニッポン放送 『チャレンジドアスリート』

アスリートの中には、障害を持ちながら、国際舞台をめざしている人たちがいます。そんな障害者アスリートや支える人々を特集し、戦い続ける素顔、軌跡、現場を支える裏側などに迫る番組を2014年から放送しています。

毎週月～金曜 15:20～15:25頃

放送に字幕・解説放送をつけています

放送・映画におけるバリアフリー

番組コンテンツをより多くの方に届けたい、そんな思いから、字幕放送、解説放送、字幕データ放送を制作しています。また、2023年度公開のフジテレビ主幹事映画についても字幕、音声ガイドを付与しました。

字幕放送

聴覚障害者や高齢者等、テレビの音が聞こえにくくなった方々にも番組を楽しんで頂くために、テレビの音声を文字にして画面に表示する字幕放送を行っています。ニュース等では、生字幕＝リアルタイムで字幕を付ける付与を進め、更に生放送のバラエティやスポーツ中継等でも積極的に字幕を付けています。CM字幕放送も増やすべく対応を進めています。

〈2022年度実績〉

- 字幕放送: 付与可能時間に対する付与率 100%
総放送時間帯に対する付与率 70.1%
- 解説放送: 付与可能時間に対する付与率 20.9%
総放送時間に対する付与率 7.8%

ニュース等の生放送番組にもリアルタイムで字幕を付けています。

社会課題への支援をライトアップで発信

フジテレビの社屋イルミネーションAURORA∞(オーロラ)を活用し、色で社会課題への支援を発信する「アウェアネスカラー」のライトアップを2015年から継続しています。年間を通じて15回実施し、近隣の施設とも連携しています。



2023年度 実施したライトアップ一覧

- 3月31日～4月2日 ● 世界自閉症啓発デー
- 4月21日～23日 ● LGBTQ等的人権啓発
- 6月3日～5日 ● 環境の日
- 8月1日 ● 水の日
- 9月21日～22日 ○ 国際平和デー
- 9月23日～24日 ● 手話言語の国際デー
- 9月29日～10月1日 ● 乳がんの予防啓発
- 10月6日～8日 ● 世界脳性まひの日
- 10月14日～16日 ● 臓器移植への理解促進
- 11月1日～5日 ● 児童虐待防止
- 11月10日～12日 ● DV・暴力根絶
- 11月14日 ● 世界糖尿病デー
- 12月1日～3日 ● 世界エイズデー
- 1月19日～21日 ● 障害者権利条約批准日
- 3月8日～10日 ● 国際女性デー

ホールディングス各社

ユニバーサルマナー検定を40人が受講



障害者や高齢者へのさりげない配慮を学ぶことができる「ユニバーサルマナー検定」3級の講習会をフジテレビ本社で3月12日に実施し、ホールディングス傘下の8社から40人が受講しました。講習会では、視覚障害者や聴覚障害者、また高齢者などの視点に立ち、どういった適切な声かけやコミュニケーションができるかなどについて学びました。テレビ業界で初めて「ユニバーサルマナー検定」を導入した企業として、これからも引き続き、より多様性と包括性のある社会の実現に向けて活動を続けてまいります。



仙台放送

東北大学との連携による社会課題解決に向けた施策



東北大学の川島隆太教授と共同開発した「運転技能向上トレーニング・アプリ」を用いて、高齢者を含む多くのドライバーの運転技能向上をめざす取り組みを続けている他、東北大学大学院医学系研究科と共同開発した、短時間かつゲーム感覚で視野の状況を確認することができるアプリ「METEOR BLASTER VR版」を用いて、緑内障の早期発見につながる取り組みを進めました。



障害者雇用の取り組み

フジアール

フジアールでは2015年から障害者雇用に取り組み、現在は3名を雇用しています。仕事内容は、番組に使われるセットパネルのメンテナンス作業で、木製のパネルに紙を貼ったり剥がしたりしています。また大工として、番組の大道具製作に携わったり、社内使用の木工家具を製作することもあります。

ポニーキャニオン

ポニーキャニオンは、2024年2月より障害者雇用を開始し、現在は2名を新規に雇用しています。あらゆる事業の定型業務を人事総務本部が取りまとめ、人事総務本部の管理のもと業務に従事して頂きながら、徐々に活躍の場を広げて欲しいと考えています。

フジキャリアデザイン

フジキャリアデザインは障害のある社員をサポートする「職場内障害者サポーター」を養成するための講座に参加しました。障害のある社員が長く職場に定着し、かつ貴重な人材として活躍できる場を広げて行くため、今後も障害者雇用の促進に向けて職場内サポーターの育成に取り組んでいきます。

ホールディングス各社

高松宮殿下記念世界文化賞



世界の優れた芸術家を顕彰する「高松宮殿下記念世界文化賞」(主催・公益財団法人日本美術協会=総裁・常陸宮殿下)の第34回授賞式典が10月18日、明治記念館で行われました。授賞式典は、常陸宮妃華子さまご出席のもと行われ、絵画、彫刻、建築、音楽、演劇・映像の各部門の受賞者5人に功績をたたえるメダルが贈られました。また、1997年からは、若手芸術家を支援する制度を設け、26回目となる今回は、ハーレム芸術学校ノルーラル・スタジオに贈られました。フジ・メディア・ホールディングス各社はこの顕彰制度の趣旨に賛同し、支援しています。

公式ソーシャルメディア Facebook インスタグラムを開設

世界文化賞を受賞した幅広いアーティストを紹介

【Praemium Imperiale】



高松宮殿下記念世界文化賞

PRÆMIUM IMPERIALE

IN HONOR OF PRINCE TAKAMATSU

第34回(2023年)受賞者

- 絵画部門: ヴィヤ・セルミンズ
- 彫刻部門: オラファー・エリアソン
- 建築部門: ディエド・フランシス・ケレ
- 音楽部門: ウィントン・マルサリス
- 演劇・映像部門: ロバート・ウィルソン



〈公式サイト〉

会社概要

商号 株式会社フジ・メディア・ホールディングス
FUJII MEDIA HOLDINGS, INC.

事業内容 認定放送持株会社

事業所 本社 〒137-8088 東京都港区台場二丁目4番8号

設立 1957(昭和32)年11月18日

株式会社フジ・メディア・ホールディングスは、2008年10月1日付けで、認定放送持株会社への移行に伴い、「株式会社フジテレビジョン」から商号変更し、「株式会社フジテレビジョン」の事業は新設の「株式会社フジテレビジョン」が承継しました。

資本金 1,462億35万円

連結従業員数 6,787名(2024年3月31日現在)

代表者 代表取締役会長 嘉納 修治/代表取締役社長 金光 修

編集方針

本報告書は、フジ・メディア・ホールディングス各社が2023年4月1日~2024年4月4日までにを行った持続可能な未来へ向けた活動をまとめたものです。2023年度も多岐にわたる取り組みを行ってきました。本報告書はそれらを読みやすく、ご理解頂きやすいよう編集したものです。ご意見、ご感想などがございましたら是非お寄せ下さい。

フジ・メディア・ホールディングス サステナビリティ推進室 csr.ss@fujitv.co.jp

フジ・メディア・ホールディングス
企業サイト
<https://www.fujimediahd.co.jp>
最新の情報をご覧ください。



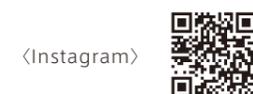
未来アクションレポート2024



フジテレビ

Tokyo Art Vibes∞
アートでTOKYOの魅力を世界に発信

ポストコロナ時代に入り、円安の影響も受けて、東京の街にはこれまでにない程の外国人観光客による賑わいが見られるようになりました。「日本」といえば、食や神社仏閣、アニメ…とおなじみのワードが挙げられますが、「アート」こそ、更なるインバウンドの可能性を秘めています。フジテレビ国際局は、東京のちりばめられた様々なアートカルチャーを60秒程度の動画にまとめて紹介する「Tokyo Art Vibes∞」(TikTok/Instagram/YouTubeショート)を2023年5月にスタートさせました。海外に向けて英語で東京の魅力を発信しています。



〈Instagram〉



ナビゲーターは、英語が堪能な佐久間みなみアナウンサー



「建築物として」のフジテレビ社屋や台場の魅力、パブリックアート、アートホテル、そして、アートとしてみる「着物」や「抹茶」などJAPANカルチャーも発信中